

長崎医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合やお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] Minimally invasive liver surgery 時代^{*}の再発肝細胞癌に対する切除成績
(^{*}腹腔鏡あるいはロボット支援下での肝切除が普及した現状のこと)

[研究責任者] 外科 医師 原 貴信

[研究の背景]

肝細胞癌に対する初回治療後、おおよそ 2 年で 50%、5 年で 80%の症例に再発が認められています。再発時には初回と同様の基準で治療が選択されますが、初回治療の影響で肝機能が低下し、治療の選択肢が限られる場合があります。こうした背景のもと近年、腹腔鏡下あるいはロボット支援下による minimally invasive liver surgery (MILS)が急速な普及を遂げ、術後肝容量、肝機能を最大限に温存する工夫がなされるようになっていきます。そこで再発肝細胞癌に対する現時点での切除の治療成績を明らかにし、開腹手術と MILS の治療成績の比較、非肝切除治療との成績比較、さらに治療後の短期間で再発するリスク因子を明らかにしたいと考えています。

[研究の目的]

再発肝細胞癌に対する肝切除治療の成績を明らかにし、他の治療法と比較検討を行います。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

西暦 2010 年 1 月 1 日から西暦 2024 年 12 月 31 日までに長崎医療センターにて再発肝細胞癌と診断された方、および他院で診断後に再発肝細胞癌に対する治療目的で長崎医療センターに紹介となった方。

●研究期間：倫理審査委員会承認日から西暦 2027 年 3 月 31 日

●利用するカルテ情報

年齢、性別、身長、体重、併存症

血液検査：血液一般、凝固、T-bil、D-bil、AST、ALT、BUN、クレアチニン、アンモニア、腫瘍マーカー (AFP、PIVKAII、CEA、CA19-9)、ICG15 分値、Child-Pugh score

画像検査：造影 CT、造影 MRI、アシアロシンチグラフィ

治療詳細：肝切除 ※術式を含む、ラジオ波焼灼療法、マイクロ波凝固壊死療法、エタノール局注療法、経肝動脈化学塞栓療法、肝動注療法、放射線療法 (重粒子線を含む)、

薬物療法 ※レジメン・投与期間を含む、治療後合併症

病理組織学的検査：組織型、腫瘍径、個数、脈管侵襲、背景肝

予後：再々発の有無、再々発診断日、再々発形式、再々発時治療、転帰

●情報の管理

情報は、長崎医療センター内で集計、解析が行われ、研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

この研究は、長崎医療センターのみで行われます。

[個人情報の取扱い]

研究に利用する個人情報は、お名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究用の番号を付けます。また、研究用の番号とあなたの名前を結び付ける対照表を当院の研究責任者が作成し、診療情報との照合などの目的に使用します。対照表は、情報管理者が責任をもって適切に管理いたします。

情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。

ご自身の試料や情報を研究に使わないでほしいと希望されている方も、下記の連絡先までご連絡ください。なお、研究への使用の拒否の意思を表明されても、国立病院機構長崎医療センターにおける診療には全く何の影響もなく、いかなる意味においても不利益を被ることはありません。

[問い合わせ先]

国立病院機構長崎医療センター

外科 医師 原 貴信

電話番号：0957-52-3121（代表）